

コンピュータによる視覚刺激の瞬間視により、視知覚、記憶実験、注意、弁別、概念、形成、認知の領域を多方面にわたって実験できる汎用刺激呈示装置です。刺激画像の呈示時間、呈示順序を自由に設定することができるため、様々な実験目的に合った視覚のコンポーネントができます。

実験条件の設定後は、自動的に測定が進み、msec単位の反応データは、テキスト形式で保存されます。

タキストスコブ実験として、また、オプションの反応マットを使用して、単純反応検査としてもご利用頂けます。



### 【特徴】

- 刺激の呈示順序、刺激呈示回数を設定することができます。
- 刺激呈示時間は、15msecより、1msec単位の設定（コンピュータの精度・刺激図による）ができます。
- 測定結果は、1msec単位の結果取り込みができます。
- out put 出力から他の測定装置（脳波計、眼球運動測定器など）への信号出力ができます。

### 視覚刺激

（刺激画像は、1試行につき（次頁【刺激作成例】のA～Dまで）4つの画像を呈示できます。）

### 聴覚刺激

オプションソフトにて、音楽や音声など、wav、mp3、MID ファイルをご使用頂けます。

### 反応キー

キースイッチ・ボイススイッチ・マットスイッチによる反応測定ができます。

（ボイススイッチ・マットスイッチはオプション製品）※ご希望により、スイッチをカスタムできます。

### 利用分野

● 視知覚実験、視覚探索などの視覚イメージ ● 記憶実験、視覚的短期記憶 ● 注意、弁別、概念形成、認知の領域 ● 単純反応時間、選択反応時間測定 ● 錯視 ● 二分視法実験 ● 弁別学習 ● カテゴリー分析 ● ストループ検査 ● タキストスコブとして